

## 質問書に対する回答

(件名) 東京外環自動車道 幸魂橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
2	設計図 水平力分担構造詳細図 新倉橋 : 8, 14, 23, 32, 38, 44, 53, 62, /73 和光高架橋 : 10, 16, 21, 28, 34, 39/59 和光北ICランプ橋 : 13, 23, 29, 39, 49, 55/72 新河岸川橋 : 24, 31, 36, 46, 52, 57/88 荒川第一橋 : 19, 26, 31, 36, 43, 50, 55, 60/109 荒川第二橋 : 13, 18, 23, 28, 34, 42, 47, 52, 57, 63/88 荒川第四橋 : 16, 24, 30, 31, 48, 56, 62, 63/124	代表例として、設計図「新倉橋外回り A1橋台 水平力分担構造詳細図（その1）」（新倉橋8/73）に下部工側ブラケットTYPE-A〈TYPE-B〉が記載されております。断面図A-Aに外周の溶接記号（F.P：完全溶け込み溶接）が示されておりますが、内側のリブ（7枚）の溶接記号が確認できません。内側のリブ間隔は300mm以下と狭く、リブ高が500～600mm以上となるため、完全溶け込み溶接（F.P）は出来ないものと考えます。そのため、内側リブの溶接方法は隅肉溶接と判断してよろしいでしょうか。なお、質問箇所に記してある他の図面も同様の質問となります。	7月13日付の質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 内側のリブの溶接につきましては、完全溶け込み溶接（F・P）となります。 なお、リブの溶接方法に誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。
3	設計図 支承取替工詳細図 新河岸川橋 : 15, 16, 21, 22/88	代表例として、設計図「新河岸川橋外回り 和光-24 P21橋脚 支承取替工詳細図（その3）」（新河岸川橋15/88）に下部工仮設ブラケットTYPE-A～Dが記載されております。断面図A-Aに外周の溶接記号（F.P：完全溶け込み溶接）が示されておりますが、内側のリブ（4枚）の溶接記号が確認できません。内側のリブ間隔は300mm以下と狭く、リブ高が500～600mm以上となるため、完全溶け込み溶接（F.P）は出来ないものと考えます。そのため、内側リブの溶接方法は隅肉溶接と判断してよろしいでしょうか。なお、質問箇所に記してある他の図面も同様の質問となります。	7月13日付の質問書に対する回答において、確認中としておりましたご質問について回答いたします。 内側のリブの溶接につきましては、完全溶け込み溶接（F・P）となります。 なお、リブの溶接方法に誤りがありました。 上記については交付図書を訂正いたします。